

ようこそ畑へ

2007

2007年10月2日(火)、10月4日(木)VOL. 15

じゃがいも（メークイン）を掘っていると、長女（3歳）がやってきました。

今年はじゃがいもの生育の終盤になって雨が多く降り、特にメークインは「二次成長」と言って、生育が終わりかけたいもが更に成長して、本来細長い形のメークインがボーリングのピンのような形になるものがありました。長女は、掘り上げたメークインの中からそういう形のものを見つけては、「お父さん、雪だるまあったよ。」と言って喜んでいました。

それから僕が掘っている所へ来て、土の中から少しいもが見えると「お父さん、ちょっと待って！、 いもあったよ！」と言っていもを取り出してくれました。全部付き合っていると日が暮れるので、少し一緒に掘って、「あとはお父さんやるから、見ててね。」というと、意外とあっさり「うん、わかった。」と言ってまた面白い形のいもを探したりしていました。

ふと手を休めると、青空が広がり、心地よい風が吹き、ハ剣山がとても美しく見えました。忙しい畑仕事の中で、なかなか「のんびりと」というわけには行きませんが、そんな景色の中で長女が遊んでいるのを見ていると、「長女は農家の娘なんだなあ」と思いました。

ふと気づくと、裸足で畑を歩いていたり、長女のお下がりの服を泥だらけにして遊んでいたり、そのたくましさ？に笑ってしまいますが、どんな「農家の娘」になるのか、楽しみのような、ちょっとコワイような気もしています。

伊達家の食卓

【キャベツ】

「札幌大球」というちょっと硬めの品種です。生食（せん切り等）よりも、加熱した方がおいしく食べられると思います。